

認証工場の受検者の皆様

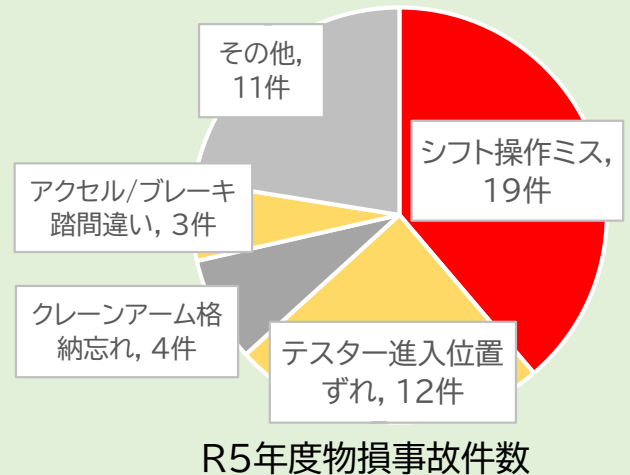
シフト操作に起因する事故にご注意下さい。

令和5年度に当機構の検査場にて49件の物損事故が発生しました。

シフト操作の誤りに起因する事故と、テスター進入時に車両の位置がずれた事に起因する事故が多く発生しています。

特にシフト操作起因事故は増加傾向にあり、令和5年度は19件と最も多い事故形態でした。19件の内、13件が認証工場の受検者による事故です。

シフト操作起因事故の典型は、Pレンジにせず、かつ駐車ブレーキをかけず降車し、無人の車両が前方もしくは後方に自走し他の受検車両や機器等に衝突する事故。令和5年度に13件発生。その他、ハイブリッド車の整備モード移行時の誤操作に起因する事故等。



《 事故事例 》

排ガス検査を実施しようとしたところ、Dレンジのまま降車しており車両が前進、ヘッドライトテストに衝突して停止。テストがレールから外れ破損。



シフト操作に起因する事故は極めて危険な事故にもつながります。

車両の自走に気づき飛び乗る事ができたものの誤ってアクセルを踏み続け、車両や機器に高い速度で激突するケースです。

一度の事故で、お客様から預かった車両、他の受検車両、ヘッドライトテスト等の機器や検査場の建物等に損害が発生し、高額な修理費用が発生した事例もあります。更に、他の受検者や当機構の職員が巻き込まれるおそれもあります。

また、機器の損傷事故はコースの閉鎖にいたる事が多く、受検者の皆様にご迷惑をお掛けする事になります。

昨年度は4ヶ月に渡り検査コースを閉鎖する事故が発生しております。

前頁に記しました13件の認証工場の受検者による事故の内、9例が毎週もしくは毎日受検されている方々で、受検歴が30年を超える方もおられます。シフト操作起因事故は検査に精通された方でも多数発生しております。

慣れた作業であっても、確実な確認と操作をお願い致します。

《 事故事例 》

駐車ブレーキ検査を終え輪止めを外したところ、Pレンジに入れていたつもりがRレンジに入っており車両が後退し、後方で待機していた車両に衝突。

